

2015年度  
日 本 史  
(問 題)

〈H27090018〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～10ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
  - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、試験開始後、氏名欄に氏名を正確に丁寧に記入すること。
  - (2) マーク欄には、はっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

|         |      |      |      |
|---------|------|------|------|
| マークする時  | ● 良い | ○ 悪い | ○ 悪い |
| マークを消す時 | ○ 良い | ○ 悪い | ○ 悪い |

5. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
6. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

I 次の【史料1】、【史料2】を読み、問1～8に答えよ。

【史料1】

(舒明天皇四年)秋八月、(中略)是の時、学問僧靈雲・僧旻<sup>(1)</sup>及び勝鳥養<sup>(2)</sup>、新羅送使等従へり。  
十一年秋九月、大唐の学問僧惠隱・惠雲、新羅の送使に従ひて京に入る。  
十二年冬十月乙亥、大唐の学問僧 **A**、学生 **B**、新羅より伝はりて至る。

【史料2】

諸公卿をして遣唐使の進止を議定せしめんことを請ふの状

右、臣某<sup>(3)</sup>謹んで、在唐の僧中瓊<sup>(4)</sup>、去年三月商客王訥<sup>(5)</sup>等に附して到る所の録記を案ずるに、大唐の凋弊<sup>(5)</sup>これに載すること具なり。(中略)臣等伏して願はくは、中瓊録記の状を以て、遍く公卿博士に下し、詳<sup>(5)</sup>に其の可否を定められん事を。国の大事にして独り身の為のみにあらず。且つは款誠<sup>(5)</sup>を陳べ伏して処分を請ふ。謹んで言す。

問1 【史料1】下線部(1)の人物に関する記述として不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 山背大兄王を抑えて皇位に就いた。
- ロ 遣唐使を初めて派遣した。
- ハ 皇后がのちに皇極天皇となった。
- ニ 大化改新に際して退位した。
- ホ 中大兄皇子・大海人皇子の父である。

問2 【史料1】下線部(2)の人物に関する記述として適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 遣唐使に従って唐に渡った。
- ロ 帰国後、聖徳太子の師となった。
- ハ 大化改新に際して、国博士となった。
- ニ 帰国後、川原寺を建立した。
- ホ 紙・墨などの技法を大陸から伝えた。

問3 【史料1】空欄 **A**、**B** に入る人物の組み合わせとして適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 玄昉—吉備真備
- ロ 玄昉—高向玄理
- ハ 南淵請安—高向玄理
- ニ 吉備真備—高向玄理
- ホ 吉備真備—南淵請安

問4 【史料1】に関連して、大陸との文化交流に関する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 飛鳥時代の仏教美術には中国南北朝時代の文化の影響がみられる。
- ロ 白鳳文化は仏教文化を基調とし、唐初期文化の影響がみられる。
- ハ 6世紀に百済の聖明王によって仏教が正式に伝えられたとされる。
- ニ 日本に伝来した仏教は、アジア北方に広がった仏教の系統に属するものである。
- ホ 7世紀前半には唐の僧観勒によって中国の暦が伝えられた。

問5 【史料2】下線部(3)に関する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 8世紀には、東シナ海を横断する航路がとられるようになった。
- ロ 廃止されるまで中断することなく、ほぼ20年に1度の割合で派遣された。
- ハ 4隻の船で渡海し、多いときは約500人が乗船した。
- ニ 遣唐使に同行して入唐した藤原清河は唐朝に仕え、朝衡と呼ばれた。
- ホ 第1回遣唐使として犬上御田鍬が派遣された。

問6 【史料2】下線部(4)に関する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 宇多天皇によって重用された。
- ロ 醍醐天皇の時代には天皇の外戚として政治に影響力を及ぼした。
- ハ 『類聚国史』を編纂した。
- ニ 書にすぐれ、三蹟のひとりに数えられた。
- ホ 藤原時平の策略により大宰府に流された。

問7 【史料2】下線部(5)の時期の東アジアの状況に関する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 8世紀末になると、日本と新羅との間の使節の往来は途絶えがちになった。
- ロ 唐が減んだのち朝鮮半島では高麗が興った。
- ハ 藤原広嗣は新羅の攻撃を計画したが実現しなかった。
- ニ 8世紀の安史の乱後、唐の国力は衰退に向かった。
- ホ 渤海は唐・新羅との対抗関係から日本との国交を重視していた。

問8 【史料2】の時期より後の日本と大陸との交流に関する記述として、適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 宋による中国の統一後に国交が再開された。
- ロ 宋の商人が来航し、博多を拠点として貿易を行った。
- ハ 刀伊の入寇により宋との外交関係が途絶えた。
- ニ 輸入品としては陶磁器や書籍、輸出品としては香料や薬品があった。
- ホ 大陸から輸入された品々は唐物と呼ばれ、都の貴族に珍重されるようになった。

Ⅱ 次の【史料】(一部改変)を読み、問1～8に答えよ。

【史料】

去程に、京都には君伯耆より還幸なりしかば、御迎に参られける卿相雲客、行粧花をなせり。今度忠功をいたしける  
(1) 正成・長年以下、供奉の武士其数をしらず。宝祚は二条内裏なり。保元・平治・治承より以来、武家の沙汰として  
(2) 政務を恣にせしかども、元弘三年の今は天下一統に成しこそめづらしけれ。君の御聖断は延喜・天曆の昔に立ち帰り  
て、武家安寧に民屋謳歌し、いつしか諸国に国司・守護をさだめ、卿相雲客各其階位に登りし体、実に目出たかりし  
善政なり。(中略)朕が新儀は未来の先例たるべしとて、新たなる勅裁漸々きこえけり。(中略)  
爰に京都の聖断を聞奉るに、(4) 記録所・決断所を置かるといへども、近臣臨時に内奏を経て非義を申し行なふ間、論  
言朝に交じ暮に改りし程に、諸人の浮沈、掌を返すが如し。或は先代滅亡の時に遁れ来る輩、又高時の一族に被官の  
外は、寛宥の儀をもて死罪の科を宥めらる。又、天下一同の法をもて安堵の論旨を下さるといへども、所帯を召さる、  
輩、恨をふくむ時分、公家に口ずさみあり。(6) 尊氏なしといふ詞を好みつかひける。(中略)武家して又公家に恨をふ  
くみ奉る輩は、(7) 頼朝卿のごとく天下を専らにせん事をいそがしく思へり。故に公家と武家、水火の陣にて元弘三年も  
暮にけり。

問1 下線部(1)に関する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 天皇親政を目指した。
- ロ 正中の変の後、隠岐に流された。
- ハ 父後宇多上皇の院政を廃した。
- ニ 大覚寺統である。
- ホ 吉野に皇居を移して南北朝時代を招いた。

問2 下線部(2)に関する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 下線部(1)と共に流罪に処された。
- ロ 河内の悪党であった。
- ハ 千早城や赤坂城に拠って幕府と戦った。
- ニ 足利尊氏を一旦は九州に敗走させた。
- ホ 湊川で戦死した。

問3 下線部(3)に関する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 伯耆の豪族である。
- ロ 隠岐を脱出した下線部(1)を迎えて挙兵した。
- ハ 上京後、六波羅探題を攻め落とした。
- ニ 伯耆・因幡の守護に任じられた。
- ホ 九州から東上してきた足利尊氏軍と戦って戦死した。

問4 下線部(4)に関する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 記録所は、後三条天皇の記録荘園券契所を継承したものである。
- ロ 記録所は、一般政務を担当した。
- ハ 記録所は、公家政治復活の中心機関であった。
- ニ 決断所は、雑訴決断所のこと、所領以外の諸々の訴訟を担当した。
- ホ 所領問題は恩賞方で扱った。

問5 下線部(5)に関する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 第14代執権である。
- ロ 父は北条時宗である。
- ハ 下線部(1)を隠岐に流した。
- ニ 内管領長崎高資が政治の実権を握っていた。
- ホ 足利尊氏から攻められて自殺した。

問6 下線部(6)に関する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 鎌倉幕府の有力御家人であった。
- ロ 正中の変の後、下線部(1)の側についた。
- ハ 幕府再興を秘かに期していた。
- ニ 中先代の乱に際して、下線部(1)から離反した。
- ホ 下線部(1)を廃し、光厳天皇を擁立した。

問7 下線部(7)に関する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 保元の乱後、伊豆に流された。
- ロ 以仁王の令旨で挙兵した。
- ハ 後白河天皇に守護・地頭の設置を認めさせた。
- ニ 後鳥羽天皇のときに征夷大將軍に任じられた。
- ホ 没後、妻の政子が幕政を裁決し、尼將軍と呼ばれた。

問8 この【史料】は足利幕府の正当性を示すために書かれたものである。その出典は次のうちどれか。正しいものを1つ選べ。

- イ 『神皇正統記』
- ロ 『梅松論』
- ハ 『愚管抄』
- ニ 『建武年間記』
- ホ 『樵談治要』

Ⅲ 次の文章を読み、問1～8に答えよ。

江戸時代後期においては、交通の整備が進み、人の移動が盛んになり、地域間の交流も活発に行われた。江戸の繁栄は経済面に止まらなかった。特に文化・文政時代の前後には、町人文化が開花し、近世文化が爛熟期を迎えた。文化年間には、600軒を超える貸本屋があり、人々の<sup>(1)</sup>文学への欲求を満足させた。<sup>(2)</sup>文学作品の作者のなかには、江戸町人や浮世絵師もあり、彼らは当時の社会や庶民の生活を描き、独特な感覚と手法を武器に多くの読者を獲得した。<sup>(3)</sup>美術の発達も著しかった。美術家たちは先人たちによって作られた様式を継承しつつ、果敢な開拓を行い、日本の近代美術のみならず、ヨーロッパの近代絵画にも大きな影響を与えた。

経済の発展と文化の繁栄は庶民の生活を一変させた。<sup>(4)</sup>余暇を手に入れた人々は、従来の信仰を目的とした旅に、湯治や物見遊山の要素を取り入れた。その影響で、寺社のあり方も変化した。中世の武家社会では武術として習得された相撲は、江戸時代では、単なる力比べではなく、「芸相撲」として技能を重視するようになった。<sup>(5)</sup>相撲の人気が高くなり、江戸の力士が農村に招かれることも珍しくなかった。

都市と農村における日常生活の変化は、経世思想の台頭を促した。Aは『稽古談』のなかで、消極的な儉約政策を批判し、商品経済に対応した経済政策を主張した。しかし、<sup>(6)</sup>江戸を取り巻く農村では、商人や地主の力が強くなった一方で、<sup>(7)</sup>多くの農民が没落した。また、大坂町奉行所元与力大塩平八郎が主導した武装蜂起は、幕府に強い衝撃を与えた。

問1 下線部(1)に関連して、文化・文政時代前後の文学に関する記述として、適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 17世紀後半以来衰えていた浮世草子は全盛期を迎えた。
- ロ 江戸の遊里の生活を描いた黄表紙が流行した。
- ハ 江戸の風俗をうがち、風刺した洒落本が流行した。
- ニ 恋愛ものを扱った読本が流行した。
- ホ 庶民の生活を描いた滑稽本が盛んになった。

問2 下線部(2)に関連して、著者と作品の組み合わせとして、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 式亭三馬——『浮世風呂』
- ロ 十返舎一九——『東海道中膝栗毛』
- ハ 山東京伝——『江戸生艶気樺焼』
- ニ 曲亭馬琴——『雨月物語』
- ホ 為永春水——『春色梅児誉美』

- 問3 下線部(3)に関連して、文化・文政時代前後の美術に関する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。
- イ 明・清の南画の影響を受けた文人画は大きな発展を遂げた。
  - ロ 円山派は写生を重んじ、立体感のある作品を描いた。
  - ハ 四条派の風景画は上方の豪商に歓迎された。
  - ニ 鈴木春信は浮世絵版画を創始した。
  - ホ 錦絵の風景版画が人気を博した背景には、庶民の旅への関心があった。
- 問4 下線部(4)に関する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。
- イ 地方の寺社は都市に出張して出開帳を行った。
  - ロ 寺社は修繕費を調達するために、月の出を拝する庚申待を催した。
  - ハ 1830年の御蔭参りに加わった人は数百万人に達した。
  - ニ 鈴木牧之は『北越雪譜』を刊行し、雪国の実情を伝えた。
  - ホ 『菅江真澄遊覧記』は四国八十八カ所を巡礼した記録である。
- 問5 下線部(5)に関する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。
- イ 相撲は江戸時代に入ると、庶民の娯楽となった。
  - ロ 幕府は徳川綱吉の時代に四季勧進相撲を公認した。
  - ハ 晴天十日間の相撲興行は江戸の他、京都と大坂でも開催された。
  - ニ 天明・寛政期に相撲は最初の全盛期を迎えた。
  - ホ 最初の将軍上覧相撲は徳川家斉の時代に行われた。
- 問6 Aに入る人物は誰か。1人選べ。
- イ 佐藤信淵    ロ 本多利明    ハ 緒方洪庵    ニ 海保青陵    ホ 安藤昌益
- 問7 下線部(6)に関連して、1827(文政10)年に幕府によって設置された寄場組合の目的として、もっとも適切なものはどれか。1つ選べ。
- イ 農村の飢饉に対応すること。
  - ロ 寛政の改革で求められた質素儉約を監督すること。
  - ハ 地域の治安や風俗を取り締ること。
  - ニ 土地を失った百姓を救済すること。
  - ホ 農村の経済活動を活性化させること。
- 問8 下線部(7)に関する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。
- イ 天明の飢饉により、大坂市中に死者が続出した。
  - ロ 大坂町奉行所は、大坂の米を大量に江戸へ回送した。
  - ハ 蜂起には家塾洗心洞の門弟が動員された。
  - ニ 大塩は蔵書を売り払って貧民を救済し、彼らに拳兵に応じるように呼びかけた。
  - ホ 1年後、国学者の生田万が大塩門弟と称して拳兵した。

IV 次の【史料】（一部改変）を読み、問1～8に答えよ。

【史料】

A 熟々<sup>(1)</sup> 財政ノ現状ヲ觀察シテ甚ダ杞憂ニ堪ヘザルモノアリ。為メニ鄙見ヲ吐露セント欲スレドモ、事專ハラ財政ニ渉ルヲ以テ、或ハ越俎ノ畏レ無キ能ハズ、言ハント欲シテ已ムモノ前後数回ノ多キニ及ベリ。

然レドモ A 窃カニ意ヘラク、財政整ハザレバ百業挙ラズ、況ヤ国家ノ安寧幸福ニ於テヲヤ。故ニ今議ノ財政ニ渉ルハ固ヨリ現職ノ重キヲ顧ミルニ在レバナリ。仍テ自カラ揣ラズ将来財政ノ目的ニ就キ下文ニ鄙意ヲ開陳セントス。区々ノ微衷 冀クハ明察ヲ垂レヨ。

謹デ按ズルニ、国ニ財政アルハ猶ホ人ニ氣脈アルガゴトシ。氣脈通ゼズ死亡随テ至ル、財政整理セズ国家衰頽必ズ随フ、豈安寧幸福ヲ期スルニ違アラシヤ。

故ニ方今ノ急要ハ貨幣運用ノ機軸ヲ定メ、正貨ヲ蓄積シテ紙幣償還ノ原資ヲ充塞セシメ、<sup>(2)</sup> 物産ヲ振興シテ輸入ヲ制スルノ目的ヲ立テザル可カラズ。<sup>(3)</sup>

貨幣運用ノ機軸ヲ定ムルトハ何ゾヤ。<sup>(4)</sup> 日本帝国中央銀行ヲ設立スル是レナリ。其ノ方法ノ要領左ノ如シ。

第一、本行ハ日本帝国ノ中央銀行ニシテ即チ貨幣運用ノ機軸トス。（中略）

第八、本行ハ大蔵省<sup>(5)</sup>ノ管理スルモノトス。

第九、本店ヲ東京ニ設ケ、各府県<sup>(6)</sup> 枢要ノ地ニハ支店若クハ代理店ヲ置キ、全国ノ氣脈ヲ通ズベシ。（後略）

問1 【史料】は、外債発行による積極財政論に反対する A が1881年に建議したものである。A に該当する人物は誰か。1人選べ。

- イ 大隈重信    口 西園寺公望    ハ 伊藤博文    ニ 松方正義    ホ 黒田清隆

問2 下線部（1）に関連した記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 鑄貨のほか、藩札や外国貨幣などきわめて数多くの通貨が流通していた。  
口 政府は、西南戦争の戦費調達のため不換紙幣を発行した。  
ハ 政府は、イギリスの制度に倣って国立銀行条例を發布した。  
ニ 貿易収支の赤字で金銀正貨の流出が続いていた。  
ホ 紙幣の価値が下がり、定額の地租（地価の2.5%）を中心とする政府の歳入は、実質的に減少した。

問3 下線部（2）に関連して、A が行った財政整理の政策として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 酒造税、煙草税を新設した。  
口 官営事業を払い下げるために、工場払下げ概則を制定した。  
ハ 軍事費以外の政府歳出を徹底的に緊縮した。  
ニ 歳入の余剰で不換紙幣を処分し、正貨の蓄積を進めた。  
ホ 国立銀行条例を改正して、国立銀行を普通銀行に転換した。

問4 下線部（3）に関連して、A が貿易金融を目的に手厚く保護した銀行は次のどれか。1つ選べ。

- イ 日本勧業銀行  
口 日本興業銀行  
ハ 台湾銀行  
ニ 東京渡辺銀行  
ホ 横浜正金銀行

問5 【史料】に関連して、金本位制に関する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 下関条約の賠償金で金準備の不足が解消された。
- ロ 第1次世界大戦中に金輸出が禁止されるまで続いた。
- ハ 貨幣法を公布して、金・銀・銅の新貨幣を造幣寮で铸造し、円・銭・厘の十進法を採用した。
- ニ 金本位制確立時の内閣総理大臣は **A** である。
- ホ 銀本位制は、金銀相場の変動で、貿易関係が不安定であった。

問6 下線部(4)は後に日本銀行に結実し、その本店を辰野金吾が設計した。辰野による建築物として正しいものを1つ選べ。

- イ 赤坂離宮
- ロ 鹿鳴館
- ハ 東京駅
- ニ 浜離宮
- ホ 帝国ホテル

問7 下線部(5)に関連して、明治初期の財政に関する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 政体書では会計官が国家財政を担当した。
- ロ 新政府は最初に太政官札を発行した。
- ハ 民部省も政府紙幣を発行した。
- ニ 廃藩置県後の太政官制では、正院に属する大蔵省が国家財政を担当することになった。
- ホ 初代の大蔵卿は、大久保利通であった。

問8 下線部(6)に関連して、明治時代の地方制度整備に関する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 東京・京都・大阪など重要地を府とし、その他を県とした。
- ロ 廃藩置県後、府知事、県令が任命された。
- ハ 郡区町村編制法により、数町村をあわせた小区と、数小区を統括する大区が府県のもとに置かれた。
- ニ 山県有朋とモッセが地方自治制の整備を推し進めた。
- ホ 府県会規則により、府県会が地方議会として全国的に定められた。

V 次の【史料】を読み、問1～8に答えよ。

【史料】

(1) 我々は獄中に幽居すること既に四年、その置かれた条件の下において全力的に闘争を続けると共に、幾多の不便と危険とを冒し、外部の一般情勢に注目してきたが、最近、日本民族の運命と労働階級のそれとの関連、また日本プロレタリア前衛とコミンターンとの関係について深く考ふる所があり、長い沈思の末、我々従来の主張と行動とにおける重要な変更を決意するに至った。

日本はいま、外、未曾有の困難に面し、空前の大変革に迫られて居る。戦争と内部改革とをばらむ此内外情勢に対し、あらゆる階級と党派とは課題解決の準備と対策に忙しい。此時、労働階級の前衛を以て任ずる日本共産党が幾多の欠陥を呈露して居る。党の基礎は現実的にも可能的にも著しく拡大したが、党員の社会的構成も党機構も行動も宛ら急進小ブルジョアの政治機関化して居る。党は近年の恐慌及びそれに関連して暴露された資本主義機構の腐敗に対し大衆の憤激を指導し得なかつた。満州事変及びそれに引続く一連の戦争情勢に対する党の公式的対策は完全に破綻し、党の反戦闘争は支那新聞のデマ記事やコミンターンのアヂ文書に於てのみ華やかであつたにとゞまる。重要なストライキの指導も深刻化しゆく農民闘争の権威ある指導も、党に依つて行はれなかつた。(中略)

戦争に一般的に反対する小ブルジョア的非戦論や平和主義は我々のとるべき態度でない。我々が戦争に参加すると反対するとは、其戦争が進歩的たるか否かによつて決定される。支那国民党軍閥に対する戦争は客観的にはむしろ進歩的意義をもつて居る。また現在の国際情勢の下において米國と戦ふ場合、それは双互の帝国主義戦争から日本側の国民的解放戦争に急速に転化し得る。更に太平洋における世界戦争は後進アジアの勤労人民を欧米資本の抑圧から解放する世界史的進歩戦争に転化し得る。

「共同被告同志に告ぐる書」『改造』(1933年)  
(7)



問1 下線部(1)に該当する人物は誰か。2人選べ。

- イ 河上肇    ロ 鍋山貞親    ハ 徳田球一    ニ 赤松克麿    ホ 佐野学

問2 下線部(2)に関連して、プロレタリア文学に関する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 徳永直は自身の体験をもとに『太陽のない街』を著した。  
ロ 『戦旗』や『種時く人』等の雑誌が作品発表の媒体となった。  
ハ 三・一五事件を機に全日本無産者芸術連盟(ナップ)が結成された。  
ニ 島木健作はプロレタリア文学からの転向をテーマに『村の家』を著した。  
ホ 小林多喜二は『蟹工船』や『海に生きる人々』を著した。

問3 下線部(3)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 堺利彦, 山川均らによって結成され, コミンテルンの日本支部とされた。  
ロ 【史料】の著者らの行動が契機となって多くの党員が転向した。  
ハ 治安維持法制定により非合法化された。  
ニ 三・一五事件および四・一六事件で多くの党員が検挙された。  
ホ 第一回普通選挙を機に活動が公然化した。

問4 下線部(4)に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 若槻礼次郎内閣はモラトリアムを発令することで金融恐慌を収束させようとした。  
ロ 金融恐慌の過程で銀行の整理・統合が進み, 五大銀行の支配的な地位が確立した。  
ハ 恐慌のもとで日本では産業の合理化が進められた。  
ニ 日本は恐慌からの脱出で欧米資本主義国におくれ, 輸出も伸び悩んだ。  
ホ 高橋是清蔵相は金輸出再禁止を断行した。

問5 下線部(5)の地域に関連する①~⑤の出来事を年代順に並べたものはどれか。1つ選べ。

- ① 関東都督府設置    ② 満州某重大事件の発生    ③ 張学良が国民政府による満州支配を承認  
④ 関東軍設置    ⑤ 東清鉄道南部とその付属利権を日本が取得
- イ ⑤—①—④—②—③  
ロ ⑤—④—①—②—③  
ハ ④—①—⑤—③—②  
ニ ①—④—⑤—③—②  
ホ ①—⑤—④—③—②

問6 下線部(6)に関連して、【史料】が発表された年の出来事として、適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 日本がワシントン海軍軍縮条約の廃棄を通告した。  
ロ 日本が国際連盟からの脱退を通告した。  
ハ アメリカが日米通商航海条約の廃棄を通告した。  
ニ 石井・ランシング協定が廃棄された。  
ホ アメリカがくず鉄の対日輸出を禁止した。

問7 下線部(7)に関連して、大正末期から昭和初期のマス＝メディアの発達に関する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 識字率の向上を背景として新聞や雑誌の発行部数が飛躍的に増えた。
- ロ 円本や岩波文庫が登場した。
- ハ 大佛次郎や中里介山らの大衆小説が人気を博した。
- ニ 下線部(7)や『キング』に代表される総合雑誌が発展した。
- ホ ラジオ放送が開始され、放送網が全国に拡大した。

問8 1920年代以降の無産政党に関する次の記述のうち、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 鈴木茂三郎らの日本無産党は、大政翼賛会成立まで活動を続けた。
- ロ 赤松克麿は社会主義に転じ日本国家社会党を結成した。
- ハ 第1回普通選挙で無産政党が議席を獲得した。
- ニ 社会大衆党は結党当時最大の無産政党であった。
- ホ 安部磯雄は社会民衆党に参加した。

[以下余白]



